

夏期における水難・山岳遭難の防止 ～水と山の事故を無くし、楽しい夏を～

▼子どもへの注意喚起や監視を怠らない。

▼海や川で釣りをする場合、ライフジャケットを着用する。

▼気象情報を事前に確認し、安全を優先した的確な状況判断をする。

▼水の流れが早いところや深いところなど、危険な箇所を事前に把握しておく。

▼登山計画書を警察に提出する。

▼クマと遭遇しないため、ラジオやクマよけ鈴を活用する。

▼万一遭難したら、夜間の行動は避け、翌朝まで待つ。

交番だより

警察署からの安心安全に関する情報を皆さんにお届けします。

例年、7月から9月は、水の事故や山での遭難が多く発生します。事故を防止するため次のことに注意し、楽しい夏を過ごしましょう。

■水難事故防止の注意点

昨年、県内の水の事故は4件発生し、2人が亡くなっています。夏期は、子どもが水辺で遊ぶ機会が増えます。次のことに注意して、水の事故を防ぎましょう。

▼水の流れが早いところや深いところなど、危険な箇所を事前に把握しておく。

▼気象情報を事前に確認し、安全を優先した的確な状況判断をする。

昨年、県内の山岳遭難事故は13件発生し、7人が負傷、2人が亡くなっています。山岳遭難を防ぐため、次のことに特に注意しましょう。

■山岳遭難事故防止の注意点

▼自分の体力に応じた登山計画の作成と万全の準備をする。

▼登山計画書を警察に提出する。

▼気象や体調に応じ、安全を優先した的確な状況判断をする。

金ヶ崎交番 (☎44-5227)
永岡駐在所 (☎44-3310)



子育て広場

子育て支援課 ☎44-4611 FAX 44-4337
金ヶ崎町西根鎌水 53 e-mail: kosodate@town.kanegasaki.wate.jp

子育て支援課からのお知らせ

こども救急ガイドブック

県では、こどもの具合が悪くなった時に活用できる「こども救急ガイドブック」を作成しています。発熱・けいれん・下痢・嘔吐などの症状や、誤飲・やけどなどの事故に対する対処法と病院受診の目安が掲載されています。日頃から確認し、緊急時の対応にお役立てください。

県ホームページから閲覧できるほか、QRコードから確認できます。



県ホームページ

こども救急相談電話 休日や夜間のご相談に

夜間に、電話でこどもの病気や事故のことで相談できる窓口です。経験豊かな看護師がアドバイスします。

■時間 午後7時～11時(年中無休)

■連絡先 ① ☎019・605・9000
② 局番なしの#8000(ダイヤル回線電話、IP電話、PHSは利用不可)

「児童虐待防止推進月間」の標語を募集!

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域などの社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報活動等の取り組みを実施しています。

取り組みの一つとして、啓発活動を図ることを目的とした標語の募集を行います。応募方法など詳細については、厚生労働省のホームページをご確認ください。

■応募資格 制限なし

■応募締切 6月30日(水)まで
※郵送の場合は当日消印有効
厚生労働省 子ども家庭局 家庭福祉課 虐待防止対策推進室 (☎03・5253・1111)



厚生労働省ホームページ



図書館だより

町立図書館 ☎41-1900 FAX 44-5661
金ヶ崎町西根西地藏野 5 開館時間: 10:00～19:00

図書館からのお知らせ

information

▶セカイ本棚企画展「本で旅する アマースト・マサチューセッツ・ニューイングランド」

■期間 7月31日(日)まで
■内容 姉妹都市アマースト町を特集。マサチューセッツ州・ニューイングランド地方にゆかりの本も併せて展示します。

▶セカイ本棚こども企画展「絵本でくらべよう! えいごとにほんご～アマーストゆかりのエリック・カールを中心に」

■期間 7月31日(日)まで
■内容 先日、マサチューセッツ州で亡くなられたエリック・カールさん。カールさんの絵本美術館はアマースト町にあります。企画展では、「はらぺこあおむし」の英語版と日本語版などを展示・貸し出し。両方を読み比べながら、「英語教育の町金ヶ崎」で楽しく英語学習!



エミリー・ディキンソン

☆エミリー 20周年 「世界へ開く創造の窓」企画展開中!

エミリー・ディキンソン資料センターは、本年度20周年を迎え、「世界へ開く創造の窓」をメインテーマに「エミリーの世界に触れる」「異文化を理解する」「創造性を育む」の3つのテーマで年間を通じ企画展を展開中。

7月までは「アマースト・アメリカ特集」として、「本で旅するアマースト・マサチューセッツ・ニューイングランド」「絵本でくらべよう! えいごとにほんご」を開催中。

ふるさとへの風だより



在京金ヶ崎人会 顧問
たかはし のぶ お 高橋 信男さん
東京都在住、永徳寺出身

夏油温泉を背に、夏油川に沿って進むと、間もなく対岸に特別記念物の「石灰華ドーム」「天狗の湯」に出会います。

湧き出る温泉に含まれている石灰分が、永い間に付着し、高さ約20mのドームを形成し、中には落葉などもそのまま石灰華として残されており、永い間続いている造形です。

2時間ほどで稜線に出、眼の前に経塚山が、高山植物に囲まれて美しい姿を見せてくれます。

遠く主峰焼石岳の勇姿を望みながら更に進むと、黒じみた・角ばった石がゴロ

ゴロし、石の間からは冷気が吹き出し、休憩には最適な場所に出会いますが、万徳山宝徳寺の跡と言われる所です。

宝徳は、室町時代、後花園天皇朝の年号で、約600年程前の昔のことです。

山岳信仰の根強い白山系の僧侶が、平泉の僧侶と共に修行の場としたのではないのでしょうか。

経塚山を源とするキツツ川の語源は、アイヌ語と云われておりますが、永沢川と合流する一帯は、「三蔵塚」や「鳥の海」と呼ばれる所で、川岸には宝徳寺跡と同じような川石には見られない「黒ずみ・角ばった石」が、遠い昔を偲ばせます。

昔の西山

2時間ほどで稜線に出、眼の前に経塚山が、高山植物に囲まれて美しい姿を見せてくれます。

遠く主峰焼石岳の勇姿を望みながら更に進むと、黒じみた・角ばった石がゴロ

在京金ヶ崎人会からお願い

★首都圏在住の金ヶ崎出身の方々をご紹介ください。
事務局 (金澤志年)
☎・FAX 044-711-2310
mail skshoukai@gmail.com